

京都FM丹波放送 第52回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成29年6月7日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名
出席委員数 3名
出席委員の氏名 藤田 佳宏 委員
田倉 徹也 委員
前田 竹司 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫
取締役 水嶋孝彦

4. 議題 1) 京都FM丹波放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

1) 京都FM丹波放送局概況報告
代表取締役 松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・新番組について

5月1日より市民参加型バラエティ番組の放送開始
約1ヶ月で100名程度の番組参加があった。

2) 放送番組全般に対するご意見

藤田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する

意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 新しい市民参加型番組について参加した方から喜びの声を聞いている。
続けていくことで広がり生まれてくるのではないかと。

(事務局) 1ヶ月で約100名の方にいろんな形で出演していただいたが皆さん喜んで頂いている。またそれぞれがSNSなどで拡散しておられるので大きな広がり生まれてきている。いろんなツールと連動しながら番組をバージョンアップしていきたい。

(委員) 前回の話に出た町歩き番組も開始されているがどのような状況か。

(事務局) 市民参加バラエティ番組のコーナーとして放送しているが、まだ出演するご当地アイドルも慣れておらず、中身のある番組を作ろうとすると、かなりの時間と労力を要している状況。

(委員) 無理に中身のある番組にしなくてもよいのではないかと。ご当地アイドルが出演し何気ない話をしているだけでも聞きたい方はいると思うし、むしろそういう方向けの番組と割り切ってはどうか。

(事務局) 出演者も含めいろんな方々の意見を聞いて試行錯誤しながらの放送になると思うが、ぜひみなさんに応援していただきたい。

3) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。
藤田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第53回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き	平成29年	7月1日
ホームページに掲載	平成29年	7月1日